青果物の卸売り

生産者と消費者の橋渡しをして食生活の重要な役割をはたしています

もっと、くわしくみてみよう!

沼津中央青果株式会社

出張授業可能です　職場見学可能です

所在地／沼津市原2608-56　TEL.055-915-2323　https://numachu.com
設立／1932(昭和7)年　従業員数／68名(2026年8月現在)

私たちの仕事

生産者や農協などから集めた野菜や果物を、スーパーや八百屋、飲食店、加工業者などへ販売しています。全国の産地からさまざまな品目、品種、等級、階級の商品を卸売市場に集めて、コールドチェーン体制で食品の鮮度・品質を保つことに力を入れています。県内産野菜の生産者と協力してブランド化したり、お客さまの希望に合わせた包装やオリジナルラベル、店頭で掲示できるPOPなどの提案もします。


▲本社

? 卸売市場の仕事とは?

青果物を仕入れて販売先につなぐ

野菜や果物などを産地から集め、必要とする人やお店につなぐという役割があります。農家などの生産者を支え、地域の経済や農業の発展に役立つ、なくてはならない重要な施設です。

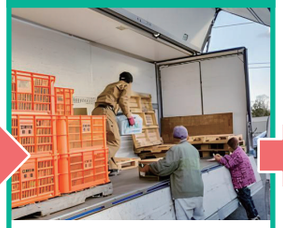


1 栽培



農家さんの畑で、一生懸命栽培された野菜や果物が育ちます。

2 収穫・輸送



さまざまな生産地で収穫された野菜や果物が、卸売市場に集められます。

3 売買



話し合いで値段が決まる「相対取引」でスーパーや八百屋さんが買います。

4 配送・購入



小売店やスーパーに運ばれて店頭に並び購入され、料理となって食卓に届きます。



? 沼津中央青果株式会社ってどんな会社?

生産者を支え、地域の食と経済を支える

社員が農家の栽培拠点へ直接訪問して情報共有をし、生産者向け勉強会や現地視察、小売店協力の販売イベントなどを行います。「FMぬまづ」のラジオ番組でも情報を発信しています。

売る人と買う人の話し合いで値段が決まる「相対取引」



沼津中央青果では「相対取引」によって、野菜や果物がちょうどよい値段で売り買いされるようにしています。生産者と買う人のどちらも納得できる取引ができ、私たちが適切な値段で商品を買えることにつながります。

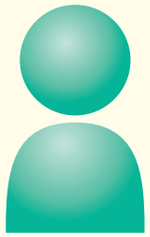
コールドチェーン体制の「沼津中央青果」



敷地面積23,200平方メートル(サッカーグラウンド約3面分)で、1日に約110トン(大型バス約9台分)の野菜や果物を取り扱っています。輸送・保管・配送までを低い温度に保つ「コールドチェーン」を取り入れ、低温売り場は2,400平方メートルで県内最大です。

働く人の声

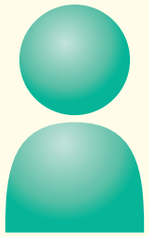
仕事のやりがいを聞いてみました。



商品部 課長
Nさん

消費者からのうれしい声が励み

ぶどう、もも、いちごの販売を担当して、みなさんからの「とても甘くておいしかった」などの声を聞くとモチベーションが上がります。生産者と消費者の架け橋的な役割を目指します。



商品部 副部長
Sさん

地元の野菜を安定して届ける

静岡県東部の地場野菜を主に販売しています。多種多様な静岡県産の新鮮な野菜をスーパーなどの販売先に対して安定した価格・安定した供給で販売することを心がけています。